

卒業論文に向けて(4)

学部4年生

島本 大輔

2004年11月24日

概要

- 進捗
- System Service Hooking
- 今後の予定

進捗

□ Windows版IDS or Sandbox

□ 調査内容

■ API hooking について調査

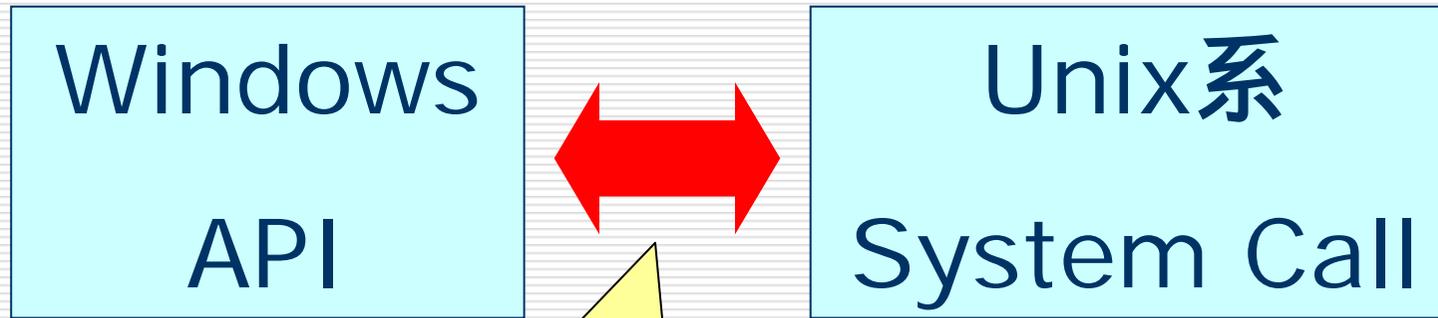
□ 主に System Service にたいするもの

■ Device Driver の作り方

Windows版IDS or Sandbox

- System Service を Hooking
- 今のところ、CreateFile のみ
- strace らしきものができれば、UNIX系列の研究を利用できるはず

API & System Call

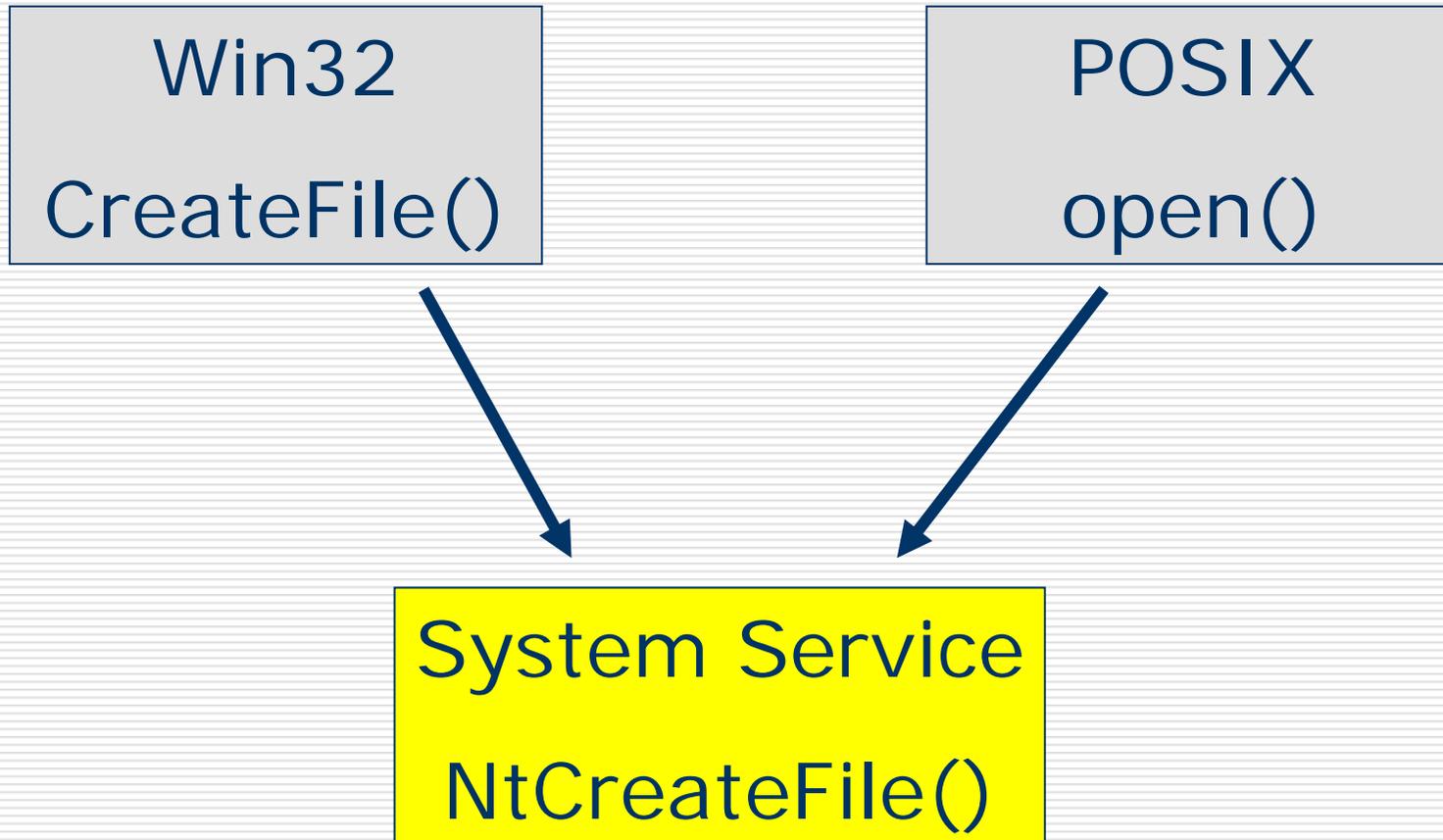


今までの
System call での
テクニックが利用可能

System Service

- Linux の System Call みたいなもの
- NT executive (ntoskrnl.exe の一部) により提供される
- まさしく、Windows の核をなす
 - 例: Win32 CreateFile() と POSIX open() は NTCreateFile() を呼ぶ
- 一部、ドキュメント化されていない！

System Service

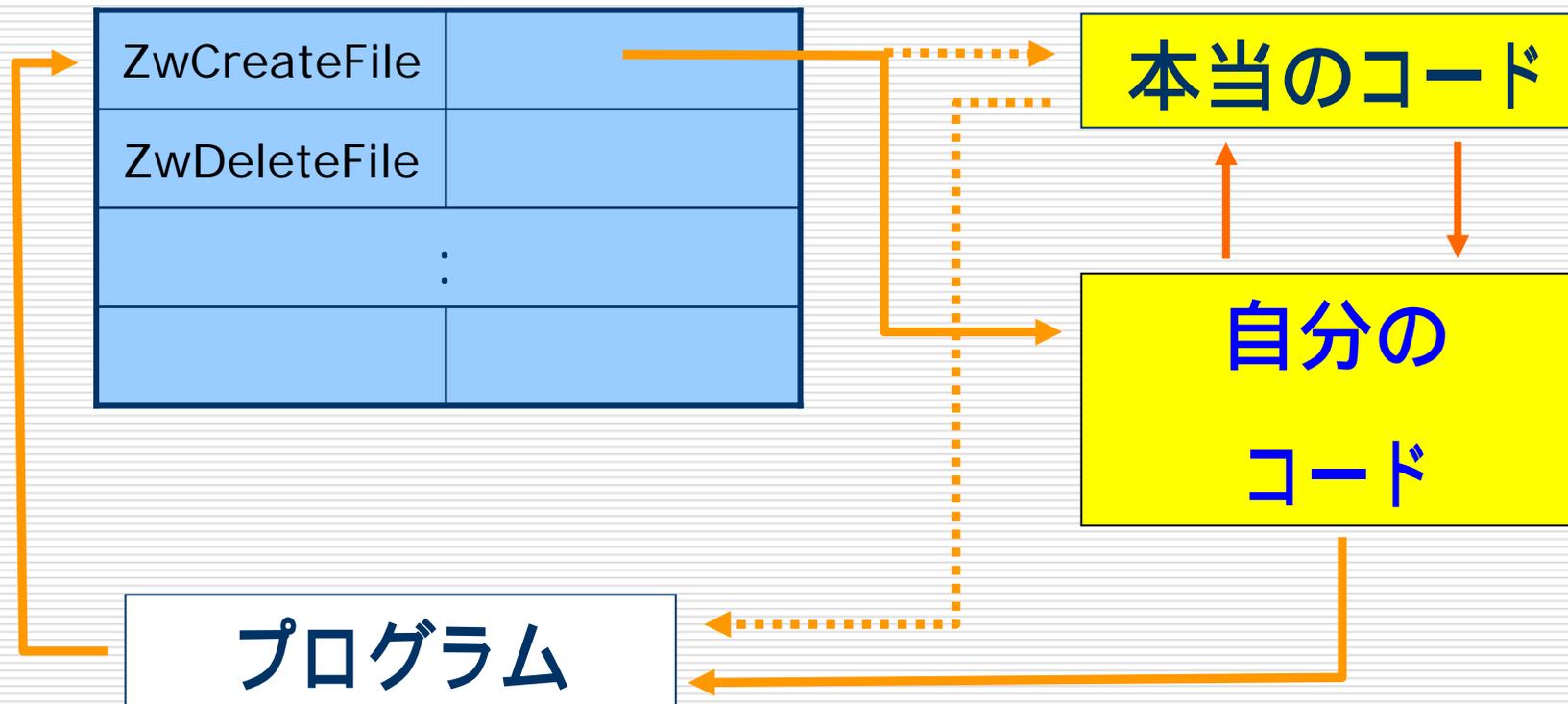


System Service Hooking

- System Service はリスト(System Service Descriptor Table(SSDT))で管理
- SSDT は Service へのポインタを持つ
- このリストの値を変えれば良い
自分の関数に書き換える
- 当然、Kernel modeで動作
Device Driver として組み込む

System Service Hooking

SDT



問題点

- 先に hooking されている可能性
- OS のバージョンにより、ntokrn1.exe が微妙に異なる
 - 各OSに対応させるのが面倒
- 有効性が未知数
 - 特定の動作を検出したい場合には有効だが.....

Implementation

□ 出力

- 今は DbgPrint で出力
DebugView で確認
- 将来的にはファイル出力

□ 実演

関連研究

- System Service Hooking は Rootkit とかに多く使われている [1, 4, 5]
 - 主にプロセス等のリソースを隠すため
- この hooking を検出するツールもある [4]

今後の予定

- Kernel-mode hooking の実装を続ける
 - API を増やす
 - 出力方法の改良
- 回避策がないか、さらに詳しく調査
- UNIX系の System call の技術の調査

参考文献

1. Greg Hoglund and Gray McGraw (2004)
"EXPLOITING SOFTWARE", Addison-Wesley
2. Art Baker and Jerry Lozano (2001)
"The Windows 2000 Device Driver Book : A Guide For Programmers", Prentice Hall PTR
3. Undocumented Windows NT
<http://www.windowstlibrary.com/Documents/Book.cfm?DocumentID=356>
4. Rootkit.com
<http://www.rootkit.com/>
5. Phrack.org
<http://www.phrack.org/>